

平成30年度奈良市子ども会議の検証について

平成30年度「奈良市子ども会議」は、平成30年7月24日から平成30年8月7日の期間で5回開催され、20名の子ども参加者によって「子どもの遊び場」のテーマについて積極的に議論をし、8月16日には市長へ意見書を提出しました。

この「奈良市子ども会議」をよりよい取組としていくため、今年度の取組状況等を踏まえ、内容や周知方法・子ども参加者等の募集方法などに改善の余地がないか等の検証を行います。

■ 募集・周知状況

募集期間 平成30年6月4日から平成30年7月20日まで

募集結果 20名（募集定員30名程度）

	周知方法	周知開始時期等
1	奈良市教育委員会への案内	6月定例会での報告
2	奈良市公式ホームページでの募集記事掲載	5月29日～7月20日
3	奈良市子ども・子育て支援推進本部での報告	6月4日
4	奈良市職員ポータルサイトでの案内	6月4日
5	奈良市子育ておうえんサイト「子育て@なら」での案内（Facebook、LINE、Twitter）	6月4日
6	校長会での案内	6月11日
7	奈良市立以外の各学校への案内	6月11日～
8	昨年度の参加者への案内	6月4日
9	しみんだより平成29年7月号への募集記事の掲載	7月1日～ （掲載記事締切は5月16日）

その他…はぐくみセンター、奈良市立図書館（中央・北部・西部）、公民館、児童館、人権文化センター、各出張所での募集チラシ、ポスターの配布を行いました。

2018 奈良市子ども会議報告書

未定稿



目次

I 奈良市子ども会議の概要	1
1 奈良市子ども会議について	1
2 奈良市子ども会議開催状況	1
3 ファシリテーター	1
4 子ども参加者	2
5 サポーター	3
II 奈良市子ども会議の開催	4
1 奈良市子ども会議の内容	4
2 振り返りシート集計結果	10
3 アンケート集計結果	14
III 奈良市子ども会議意見書	17

別冊資料

- 平成30年度奈良市子ども会議 まとめ(原本の写し)



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

また、提出された意見に対しては奈良市としての回答を作成し、公表することとしています。

なお、平成30年度の奈良市子ども会議は、話し合うテーマを「子どもの遊び場」に絞って子ども参加者の募集段階から提示しました。

2 奈良市子ども会議開催状況

(1) 開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	テーマ	参加人数
第1回	平成30年7月24日(火)	「仲間と出会い、テーマについて語ろう」	16人
第2回	平成30年7月26日(木)	「公園の情報をもとに提案のイメージを考える」	15人
第3回	平成30年7月31日(火)	「公園を実際に見に行き、公園をデザインしよう！」	16人
第4回	平成30年8月2日(木)	「公園のデザイン画を完成させよう！」	17人
第5回	平成30年8月7日(火)	「市長への発表の準備」	15人
—	平成30年8月16日(木)	「平成30年度奈良市子ども会議からのプレゼンテーション」	13人

(2) 開催時間・場所

- ▶ 開催時間 午前10時から正午まで(※8/16のプレゼンテーションは午前11時30分まで)
- ▶ 開催場所 奈良市役所 北棟6階 第21会議室

3 ファシリテーター

特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長 浜田 進士

(アシスタント ※第4回のみ欠席)

ひと結び 代表

佐野 岳章

4 子ども参加者

10歳から17歳までの子どもを対象に、公募等により募集し、20名の子どもが参加しました。

(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年	性別		氏名	学校／学年	性別
1	ひがしもと ひろき 東元 博樹	帯解小学校 6年	男	11	やざき ともえ 矢崎 友萌	一条高等学校 1年	女
2	はらだ あおい 原田 碧	富雄第三中学校 1年	女	12	たなか まこと 田中 誠	一条高等学校 1年	男
3	いとう にじか 伊藤 虹架	若草中学校 1年	女	13	まつだ あいこ 松田 愛子	一条高等学校 1年	女
4	おおもと かんえい 大本 幹英	六条小学校 6年	男	14	しぶたに いっしん 渋谷 一心	都跡小学校 6年	男
5	よしおか はつね 吉岡 初音	都跡中学校 1年	女	15	ふじもと レイナ 藤本 レイナ	天理高等学校 2年	女
6	あかさか むさし 赤坂 武紗志	済美小学校 5年	男	16	じょうた ふうが 上田 夫雅	鼓阪小学校 6年	男
7	のだ のぞみ 野田 望未	三笠中学校 3年	女	17	すがわ たかし 須川 敬	二名中学校 1年	男
8	ばんば みつき 馬場 充希	三笠中学校 3年	女	18	かきおか なつき 垣岡 夏季	三笠中学校 3年	女
9	もりや ののか 守屋 のの香	飛鳥小学校 6年	女	19	じょうた えりせ 上田 笑世	若草中学校 3年	女
10	かわぐち こなみ 川口 虹波	一条高等学校 2年	女	20	おおば りょうご 大庭 遼吾	明治小学校 6年	男

内訳（単位：名）

小学生	7	新規参加者	10
中学生	8	参加経験あり	10
高校生	5		
男子	8		
女子	12		

5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、6名の大学生が参加しました。

(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年	性別
1	たにがき とおる 谷垣 徹	奈良教育大学大学院 1年	男
2	もりもと すみれ 森本 珠美怜	奈良教育大学 4年	女
3	ふじい まなか 藤井 愛華	奈良教育大学 4年	女
4	なかむら ゆきな 仲村 幸奈	奈良教育大学 2年	女
5	こばやし まりの 小林 真理納	奈良教育大学 1年	女
6	にしだ あかね 西田 朱音	奈良教育大学 1年	女



Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、テーマについて語ろう」(7月24日開催)

- 10:00 開会
・開会あいさつ(子ども未来部長 真銅 正宣)
・事務局紹介
- 10:10 ファシリテーター紹介
子ども会議のねらいと全5回のスケジュールを説明
- 10:15 アイスブレイキング
・共通ルールについて確認
- 10:40 自分の遊び体験を振り返る時間
遊びの施設の在り方を子どもに聴くことはせず、遊びの楽しさを思い出し、遊びの大切さの共通理解を図る。
小学1年生～3年生の頃、小学4年生～6年生の頃、中学生の頃、そして、今どんな遊びをしたか思い出して記入してもらう。
記入できたら、隣の人とどんな遊びをしたか話し合ってもらおう。
- 11:10 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:20 グループで話し合い(ランダムにグループ分け)
① 子どもの原体験を振り返ることで、「遊びの権利」の大切さについて共有する。
② 記入した遊びをしていて、何が楽しかった? どうして楽しかった? を記入する。
③ グループで分かち合い
④ 全体で分かち合い
- 11:40 全体での振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう。)
- 11:50 仲川市長あいさつ・集合写真
- 12:00 閉会

- ◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。
- ◆ 奈良市教育委員会 畑中 康宣 教育委員にご視察いただきました。
- ◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(2) 第2回「芝辻町の公園の情報をもとに提案のイメージを考える」(7月26日開催)

10:00 開会

- ・前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・共通ルールについて確認
- ・今日のゴール「市から提案のあった公園でどんなふう再生するか、提案の骨子をつくります。」

10:10 アイスブレイキング

10:20 市役所からの情報提供

- ① 事前アンケートの結果説明
- ② 奈良市の公園について現状説明
- ③ 「芝辻四丁目緑地」について説明
- ④ 他都市にあるいろいろな遊び場を紹介

10:50 情報提供を受けての子どもとの意見交換

11:00 休憩(お菓子・ジュース)

11:10 グループ分け(4~5名程度 小・中・高の年齢別に分かれる)

グループでの話し合い(提案の骨子を模造紙に記入)

- ① 「こんな遊びがしたい」「こんな遊具があったらいいな」
- ② 「こんなイベントがしたい」

黄色の付箋に「したいこと」「できること」を書く

青色の付箋に「ほしいもの」を書く

全体での情報共有

11:35 次回の現地見学について説明(注意事項など)

11:55 全体での振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(3) 第3回「公園を実際に見に行つて、公園をデザインしよう！」(7月31日開催)

- 9:20 「芝辻四丁目緑地」現地見学希望者集合
熱中症対策等、見学の注意点を説明
- 9:30 市役所を出発(公用車で移動)
- 9:40 「芝辻四丁目緑地」現地見学
5~10分程度現地見学
総合政策課及び公園緑地課職員も同行
- 10:10 市役所着 休憩
- 10:20 子ども会議 開会
前回の振り返りと本日のねらいと流れの確認
共通ルールの確認
- 10:25 現地見学の振り返り
行つてみて感じたこと、質問したいこと、考えたこと
- 10:40 グループワーク
- ① 作業の説明
今回は鉛筆による下書き段階
今見てきた公園の縮図を配付し、「どんなものをおきたいか?」「どんなことをしたいか?」を下書きします。
- ② 公園の利用者の対象を明確にする
グループでどんな子どもや地域の人たちのための公園にするかを選ぶ。
- ③ 「芝辻町四丁目緑地」再生計画をデザインしよう
- ・この公園をどんなふうデザインするか
 - ・どんなこと、イベントをするか
 - ・この公園を地元以外にも多くの人が訪れやすいようにどんな工夫をするか
- 11:20 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:30 グループでの話し合い再開
- 11:50 全体での振り返りとまとめ
- 11:55 振り返りシートを記入
- 12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 金野 秀一 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(4) 第4回「公園のデザイン画を完成させよう！」（8月2日開催）

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認

今日のゴール「芝辻町四丁目緑地」のデザイン画を完成させよう

デザイン画の他に絵のポイントやその理由等を箇条書きで書いた説明文も作成
アイスブレーキング

10:15

各グループで公園の絵を完成し、箇条書きの説明文も考える。

(1) 公園のデザイン画の完成作業

- ① この公園でもっとも提案したいこと、大切にしたいこと、アピールポイントはなにか？
- ② 公園のどこにどんなものを置くか？
- ③ この公園でやりたいことはなにか？
- ④ トイレ、水飲み場、樹木や川の利用、地面の材質、駐輪場の有無など

(2) 市長への箇条書きの説明文

- ① 私たちがアピールしたいことは？
- ② 私たちが欲しい遊具は？
- ③ 私たちがこの公園でやりたいことは？
- ④ 私たちがその他に工夫した点は？

11:00 休憩（お菓子・ジュース）

11:10 グループごとに途中経過を発表

11:30 グループでの作業再開

11:55 全体の振り返りとまとめ（振り返りシートを記入してもらう）

12:00 閉会

◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。

◎ 奈良新聞社からの取材を受けました。



(5) 第5回「市長への提案の準備」(8月7日開催)

- 10:00 開会
- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
 - ・ 共通ルールについて確認
- アイスブレイキング
- 10:10 デザイン画を完成させる
- 11:00 休憩(お菓子・ジュース)
- 11:10 アピールポイントを発表する練習
- グループごとの読み合わせ
- 11:35 市長への意見報告会の進行について話し合う。
- 発表の順番、各グループの発表時間、発表の方法等
- 11:50 全体での振り返りとまとめ
- (振り返りシートと全体を振り返ってのアンケートを記入してもらう)
- 12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



(6) 平成30年度奈良市子ども会議からのプレゼンテーション（8月16日開催）

9：00 事前打ち合わせ

・意見報告会の進行について確認する。意見報告の練習を行う。

10：00 開会

・市長あいさつ

・出席者紹介

10：10 市長へ意見書提出

10：20 各グループごとに意見発表・市長との意見交換

① いろんな地域から人が集まる公園

② どんな人でも楽しめる公園

③ 奈良ふれあい公園

④ 地元の人が来やすい公園

11：20 ファシリテーター浜田進士氏からのあいさつ

11：30 閉会

◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 須川 千恵子 委員にご視察いただきました。



2 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート(振り返りシート)を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数	第1回	16名
	第2回	15名
	第3回	16名
	第4回	17名
	第5回	18名

(問1) 楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%								
とても思う	13	81%	13	87%	13	81%	14	82%	12	80%
そう思う	3	19%	2	13%	3	19%	3	18%	3	20%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	16	100%	15	100%	16	100%	17	100%	15	100%

(問2) わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%								
とても思う	12	75%	13	87%	12	75%	14	82%	12	80%
そう思う	4	25%	2	13%	4	25%	3	18%	3	20%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	16	100%	15	100%	16	100%	17	100%	15	100%

(問3) 話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%								
とても思う	12	75%	13	87%	12	75%	14	82%	12	80%
そう思う	3	19%	2	13%	3	19%	3	18%	3	20%
そうでもない	1	6%	0	0%	1	6%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	16	100%	15	100%	16	100%	17	100%	15	100%

(問4) 今日子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回

- ・みんなたくさん夢中になったこと、なってることがあるんだなーと思った。
- ・「公園をつくる」ことに必要な事をもっと知りたいです。今日はとても楽しかったです。もっと周りを巻き込んでどんどん進めていきたいです。
- ・今年は公園！たくさんテーマを出して子どもから大人まで楽しめる公園を作りたい！
- ・公園をもっとよくしたい
- ・人のことを知ってから話し合いをするのはとてもいいと思います。
- ・お菓子充実してよかった。遊び楽しかった。
- ・おもしろい人ばかりで、意見を出しやすかったです。
- ・思い出してみると、小学校に入る前や、小・中・高に通っている間、楽しいことは違ってもどんな所が楽しかったとか、どういう風にしてると楽しかったとかはずっと同じなんだなと思った。
- ・小学生の発想が新鮮でいいなと思った。
- ・初めて参加しましたが、あまり緊張せずに参加できた。
- ・未来にできる新しい公園が楽しみ。
- ・すごい楽しかった。話やすかった。
- ・市長が本気なこと

② 第2回

- ・僕のイメージでは遊具は公園にあるものだと思っていたので、何かつくれたらいいなと思いました。
- ・本当に公園をデザインできると思っていたのでとても楽しみです。この新しい公園をデザインして、たくさんの方が来るような場所にしていきたいと思います。今日もとても楽しかったです。次回も楽しみにしています。
- ・計画されている公園を見て、現地見学をしたいです。
- ・木登りは果たして重要なのか否か？
- ・楽しかった
- ・わからないことがあって質問するときに専門の人がいてくれるととても助かります。また、こういう場で自分の考えが採用されると嬉しいです。
- ・みんなで話し合っふせんをはるのが、楽しかった。「それは気付かなかった！」とか「なるほど！」と思う意見もたくさんあっておもしろかった。
- ・何となくアクセス関連(公園までの)が不安。
- ・なしです。おもしろかった。
- ・次回、公園をみにいくことで、とても、加わっている奈良市のために自分たちの意見が採用されるというのが、感じられました！
- ・はじめての会議だったけど楽しかった。
- ・自分の理想の公園ができそうなので嬉しいです。
- ・高校生や中3の人たちと話をして、とてもたのしかった。公園の多さに驚いた。
- ・公園の手入れが…。施設が…。ふせんを使っていろんな意見を書くのに、ものすごく多く書けたと思った。
- ・ラグビーをしている人がいるんだなと思いました。野球をしている人はもてると思った。コミュニケーションが取りやすかった。

③ 第3回

- ・遊具は高いなと思いました。公園を1つ作るのにこんなにも大変だと思います。工夫することや技術があがるともつと高くなるので、400万円もするみたいでした。みんなで出し合っただけでよかったらいいなと思います。
- ・絵を描いたり、中高生の意見も聞けてとても勉強になった。
- ・なんでもできるものはなかなか・・・
- ・話し合いがよくできてよかった。
- ・小中高と混じってやるといういろいろな意見が聞けてよかったです。
- ・今日、実際に公園を見に行ったことで設計図案を出すときにやりやすかった。
- ・小さいことに好きだった遊具や欲しいなあと思っていたものが作られるのかなあと思いつつ意見をいうのはとてもワクワクした。
- ・年齢差があるので考えることが違った。高校生として意見をまとめたいのだが、なかなか通じないので大変だった。
- ・意見を出し合っただけで話し合えるのがよかった。
- ・楽しかった。
- ・今日、実際、見に行ったことでだいたいのイメージができました。また、グループに分かれて少しずつ具体的にやってきたと思います。
- ・みんなで公園をどうするのかをすることが楽しかった。
- ・グループが3つあるので最後決めるのが難しいと思う。
- ・みんなのいろいろな案とかが聞けて面白かった。
- ・公園を一つ作るのにかかる遊具の費用が高くてびっくりしました！

④ 第4回

- ・公園は大きい遊具をおくと、少ししかスペースがなくなってしまうので、小さい遊具だけでも迫力がなくなってしまうので、難しいです。でも、たくさんの方が楽しめることを考えながら、進められたと思います。今日もとても楽しかったです。
- ・とても楽しかった！！みんなと意見が聞けてよかったです！！
- ・本当にある！と思いました。とてもこの公園を作る現実味が増してきた。(笑)
- ・考えて頭が疲れた。
- ・仕事が楽しくて仕事がかかりそうです。
- ・みんな意見をたくさん出すから、話し合うのが楽しかった。
- ・第1～3回まで参加できなくて、浮かないか心配だったけど、仲良くさせてもらってよかった。友達の家で近所遊びと遊んだとき、鬼ごっこをただで楽しかったので、遊具があるととても楽しめると思う！妄想するだけで楽しかった！私にはない自由な発想が聞けてよかった！
- ・横型？立体？の形にすることでより相手に伝わりやすくなってきたと思った。初めて取材を受けた・・・！
- ・今日も小学生相手と話をまとめるのが大変だった。仕方ないのかもしれないのか。
- ・本格的に考えるので、自分も力になれて良い。
- ・具体的完成まであと一歩
- ・だいぶ意見もまとまり、良い公園ができてきました。立体的に作ろうということになり次回完成するのが楽しみです。
- ・自分たちの班が公園にたくさん取り入れてくれたらなと思います。
- ・みんな、しっかりと考えていてそれを聞くのが面白かった。楽しかった！！
- ・とても楽しかった。
- ・話し合いの内容がとても分かりやすくて賛成論ばかりでした。公園の新しいネームがコフンと混ざっていいネーミングだなあと思いました。

⑤ 第5回

- ・カラーコピーできれいに表せたと思います。ネットも使えて、とても考えやすかったです。市長さんに思いを伝えるのをがんばります！
- ・設計図がついに完成！！はじめは完成するかわからなかったけど、みんなでがんばってできた！！めっちゃ楽しかった！！
- ・自動販売機のこと
- ・工作が楽しかった。ぎりぎりできた(汗)
- ・自分の身近にある公園に意見が言えたのは良かったと思う。
- ・班の中の最年長なので引っ張っていったかなと思う。サポーターの方の手助けもあってよかった。デザイン画も整ってよかった。
- ・立体的な模型が完成したので達成感を感じられた。次回が市長に説明なので緊張しないようにがんばりたい。
- ・実現したらどの公園も良いと思う！
- ・完成できた！細かいところまでできたのは良かった！
- ・遊具の配置がうまくできたのでうれしいです。
- ・人の提案を聞いたりパソコンで寸法を調べて張り付けていくのが、楽しかったです。



3 アンケート集計結果

第5回奈良市子ども会議の際には振り返りシートの他に奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 15名

(問1) 奈良市子ども会議のことを何で知りましたか。(1名からの複数回答あり)

選択肢	人数	%
しみんだより	1	6%
チラシ(学校)	1	6%
学校での案内	9	56%
奈良市のホームページ	0	0%
子育て@なら	0	0%
子ども未来部Twitter	0	0%
友達や保護者からの紹介	2	13%
口コミ	0	0%
その他	3	19%
計	16	100%

(その他)

- ・昨年参加したから(3人)

(問2) 奈良市子ども会議についてご満足いただけましたか。

選択肢	人数	%
満足	11	73%
やや満足	3	20%
普通	1	7%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	15	100%

(その理由)

【満足】

- ・楽しく話し合いができたし、交流できたから
- ・公園で「作る」と言う事が好きで皆でできた達成感！！
- ・自分の意見が公園の一部になったから
- ・楽しかって、いっぱいしゃべれた
- ・自分の意見や他の意見が聞けた
- ・いろんな意見が飛び交って面白かったから
- ・やる気のある小中学生と話せて楽しかった。
- ・積極的に意見を言ってくれる人ばかりで意見交換ができたから
- ・図書カードの配付
- ・実際に公園をみたり、工作したり。
- ・みんなと話し合えたから

【やや満足】

- ・いろいろな人と話し合えて楽しかった。
- ・たくさんの遊具が知れた。会議が好きだから。

【普通】

- ・小学生暴走

(問3) 奈良市子ども会議を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	10	67%
できた	5	33%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	15	100%

(問4) 奈良市子ども会議に参加して、奈良市のまちづくりにより興味・関心をもつことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	10	67%
できた	5	33%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	15	100%

(問5) 奈良市子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	9	60%
参加したい	3	20%
どちらともいえない	3	20%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
計	15	100%

(問6) 来年も奈良市子ども会議に参加するとしたら、どんなテーマで話し合いたいですか。

- ・奈良市の留学について
- ・戦争なき世界
- ・とても明るいテーマ
- ・夢
- ・来年はじこについてしたい
- ・町をきれいにすること

- ・奈良市のプール
- ・奈良のおみやげ。子どもがすすんで食べたいお菓子
- ・学校の設備など身近なこと
- ・自転車道設置
- ・学校について
- ・おまかせ
- ・小学校や中学校にクーラー
- ・少しあぶない遊びができる場所
- ・成績制度について

(問7) 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいところなど、自由に感想や意見を書いてください。(開催時期、回数、場所、内容など)

- ・とても楽しく意見を話せました。とても満足です。ぜひ来年もやってほしいです。
- ・図書カードを1,000円にしてください。
- ・良いところで、休憩時におやつが出たのはよかった。
- ・みんなとよくしゃべった
- ・他の人の意見も聞ける
- ・みんなと最初に仲良くなれた気がして楽しかった。
- ・時間、時期ちょうどいい。内容も楽しく話やすかった。来年は受験生なので、いけないのがさびしいですが、また、小中学生と関われる機会がほしい。大学生とも関わりたい！
- ・お菓子がおいしかった。
- ・小学生暴走
- ・回数はもう少し増やしたら良い！
- ・なし(満足)
- ・公園を実際に見に行ったところは良かった。たくさん細かいところまで話し合えた。
- ・回数がもっと多い方がいい。
- ・良かったところしかありません。



Ⅲ 奈良市子ども会議意見書

奈良市子ども会議で出された子どもたちの意見をまとめ、市長に提出するための意見書を子どもたち自身の手で作成しました。その内容は次のとおりです。

平成30年度奈良市子ども会議では、参加者募集の段階から全体のテーマを「子どもの遊び場」に絞り、奈良市内に実際にある「芝辻四丁目緑地」の再生計画について4つのグループにわかれて議論を行いました。

そして、出された多くの意見を模造紙にイラストにしてまとめ、その提案のアピールポイントやその理由について意見書にまとめてくれました。

今後、提案されたご意見を参考に公園の整備を次の段階に進めていきます。

なお、この意見書の原本は子どもたちによる手書きの意見書になっていますので、この報告書の別冊資料としてその写しを添付しています。

[テーマ・グループメンバー一覧]

「いろんな地域から人が集まる公園」

原田 碧 川口 虹波 渋谷 一心 須川 敬 大庭 遼吾

「どんな人でも楽しめる公園」

野田 望未 矢崎 友萌 藤本 レイナ 垣岡 夏季

「奈良ふれあい公園」

大本 幹英 赤阪 武紗志 守屋 野香 田中 誠

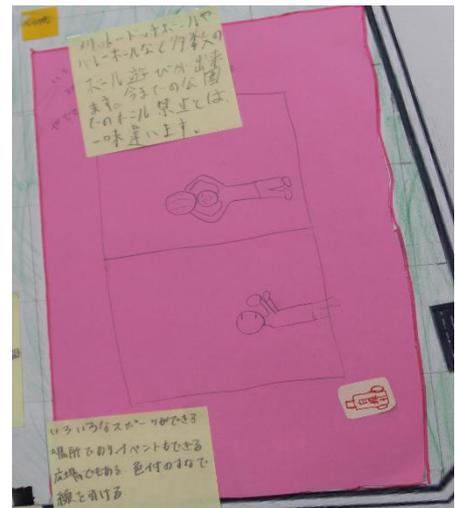
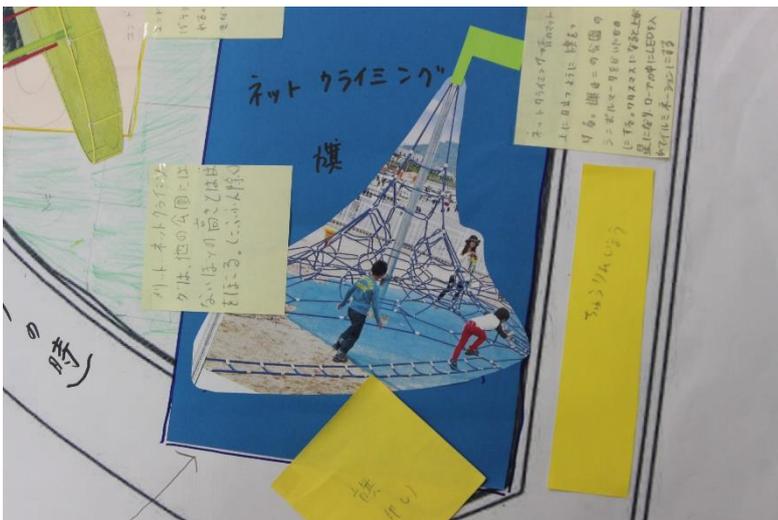
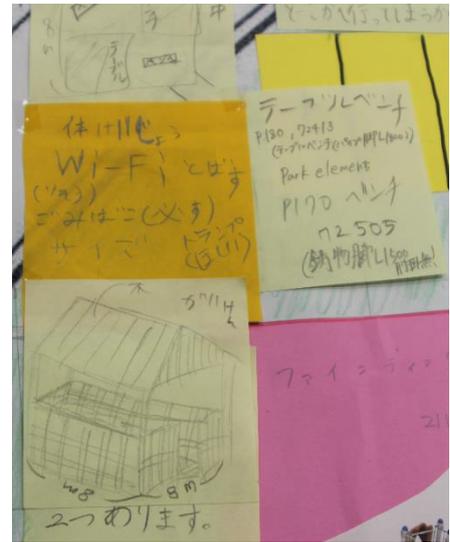
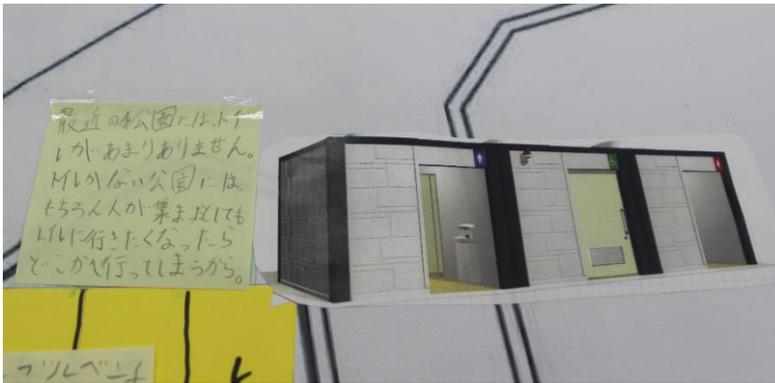
「地元の人が来やすい公園」

伊藤 虹架 吉岡 初音 松田 愛子

(途中欠席のため、グループには未加入の参加者)

東元 博樹 馬場 充希 上田 夫雅 上田 笑世

(1) 「いろいろな地域から人が集まる公園」意見書



[テーマ] いろいろな地域から人が集まる公園

[提案とその理由]

- ・ ネットクライミングがメインで作られている！
→ 頂上にはシンボルの書いてある旗がある！
(クリスマスにはイルミネーションされ、旗が星に変わる)
- ・ 球技広場の線はふつうの砂を使う(石灰は危ない)
- ・ 球技広場でイベントができる。
- ・ 名前は芝ふん。→ 芝辻四丁目と芝生から
- ・ 安全のために遊具の周りにマットを敷く。
- ・ トイレは「3つ」作る(男・女・多目的)
- ・ 入口は車いすの人も通れるように広くする。冷水器も車いすの人が使いやすいデザイン。
- ・ 川のまわりは屋台をつくる。

トイレ

最近の公園にはトイレがありません。トイレに行きたくなくなったらどこかに行ってしまうから。

ファインディング

難易度の高い遊具がたくさんあるので、おもしろいです。すべり台が2つあります。

色は写真通りで安全区域はピンクのゴムマットです。

ネットクライミング

この「芝ふん」メインの遊具です。高さが自慢。

上にシンボルマークを描いてある旗をつける。クリスマスになると上が星になり、ロープの中にLEDを入れてイルミネーションにする。色は写真通りで、安全区域は青のゴムマット。

球技場

ドッジボール、バレーボール等、多数のボール遊びができる！ボール遊び禁止の公園とはちがいます。

スポーツはなんでもできて、イベントができる！色付きの砂で線を引ける芝！

屋台

お祭りのときは屋台ができる！

エンドレスレールウェイ

レールウェイがある公園は少ないのでほしい

休憩場

トランプをおいて、Wi-Fiをとばす

駐車場

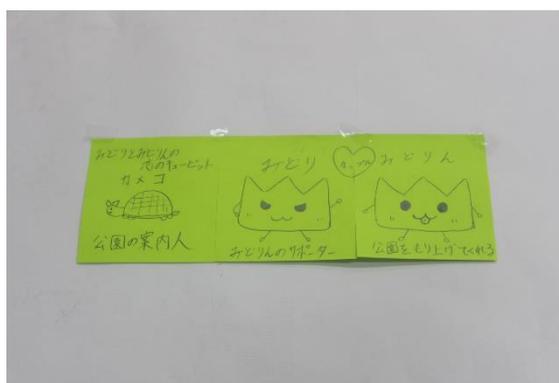
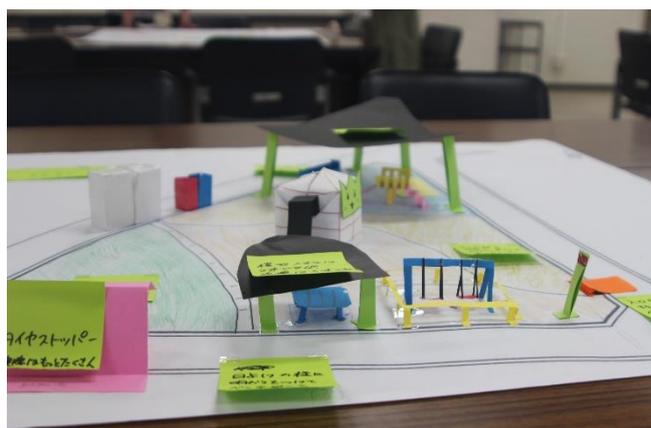
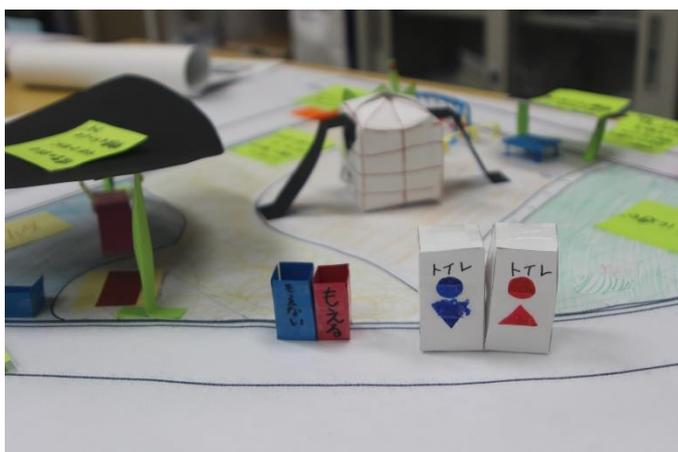
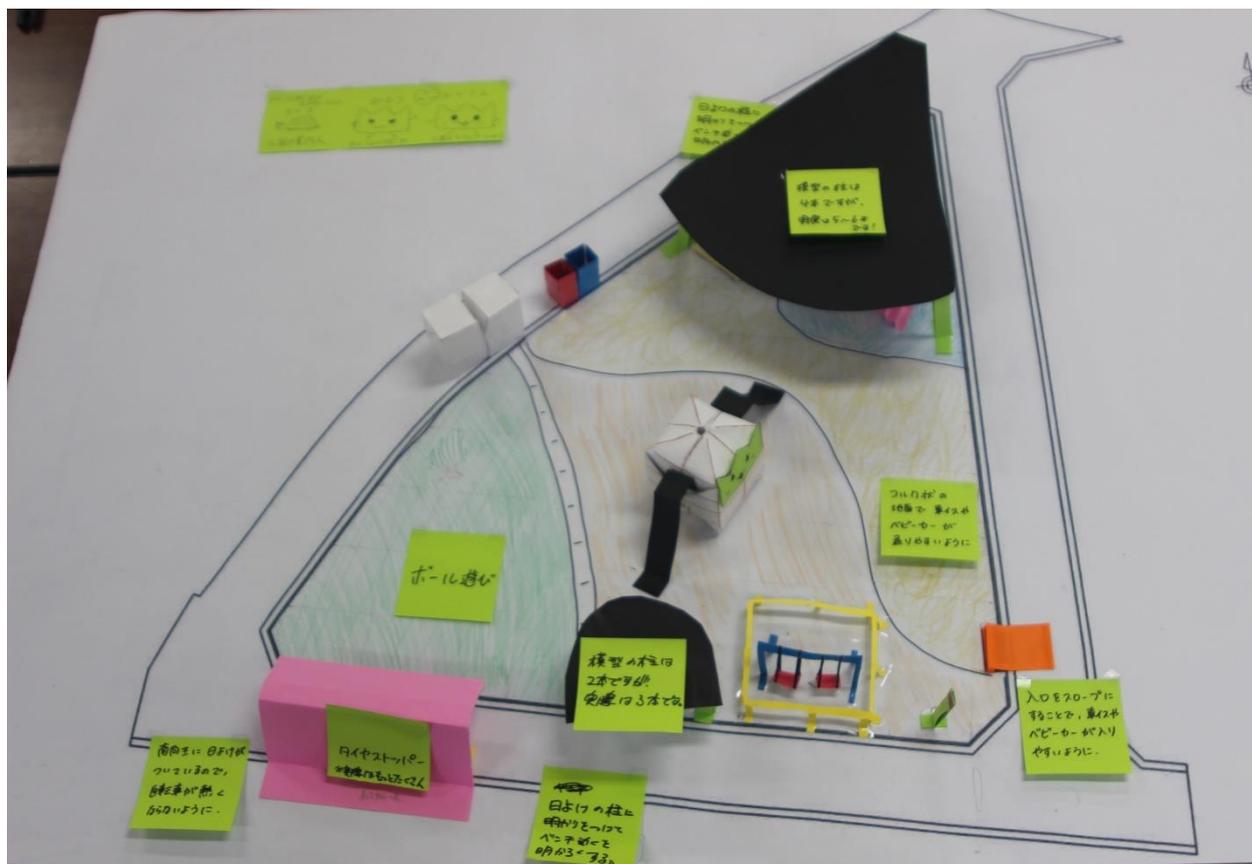
なし(あたりのをつかって)

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

公園を作る手伝いをする(アイデアや仕事も)

- ・ ポスターや呼びかけで公園を広める。
- ・ 草刈り、トイレ掃除をするなど、整備を手伝う。
- ・ 私たちも実際に行って楽しむ。

(2) 「どんな人でも楽しめる公園」意見書



[テーマ] どんな人でも楽しめる公園

[提案とその理由]

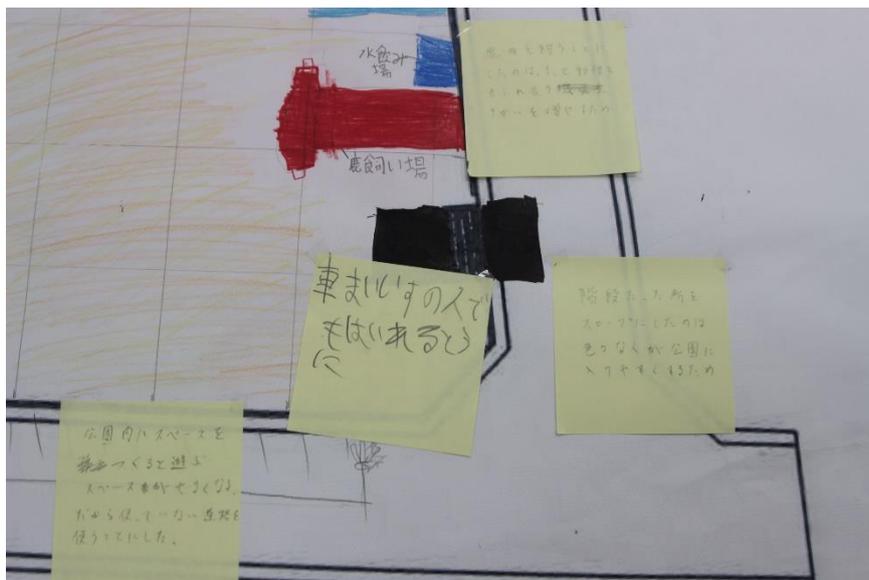
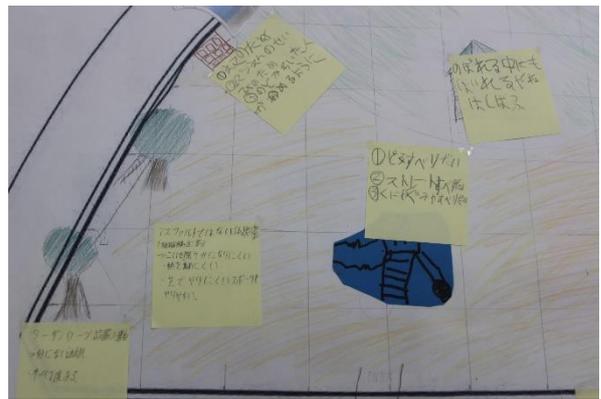
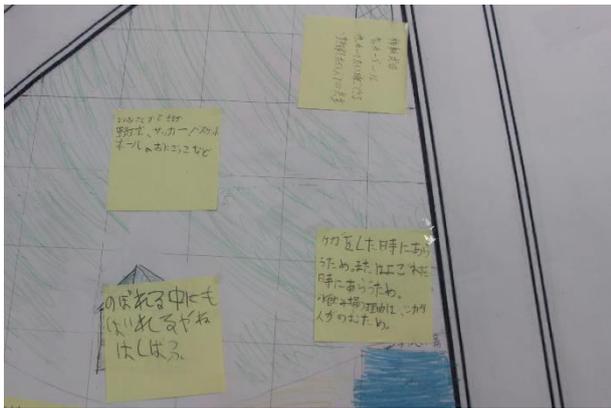
バリアフリーと駐輪場

- ・ 入口をスロープに
 - 車いすやベビーカーが入りやすいように
- ・ 日陰用の屋根を傾ける
 - 雨が降ったときたまった雨水が流れるように
- ・ 日避け用の柱に明かりをつける
 - ベンチ近くを明るくするため
- ・ 駐輪場をつくる
 - 遠くからでも来てもらえるように
- ・ 駐輪場にタイヤストッパーをつける
 - 自転車のドミノ倒しを防ぐため
- ・ 公園の中の通路はウッドチップに
 - 車いすやベビーカーが通りやすいように

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

宣伝します！

(3) 「奈良ふれあい公園」意見書



[テーマ] 奈良ふれあい公園

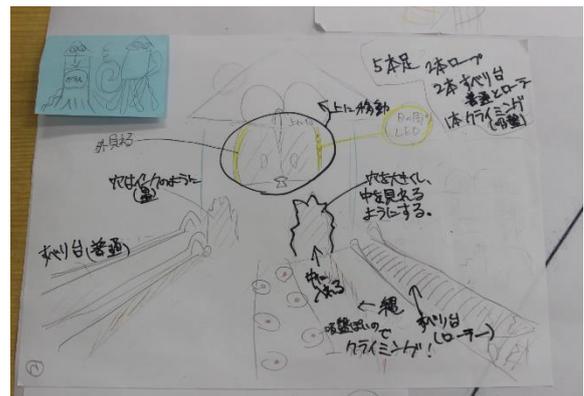
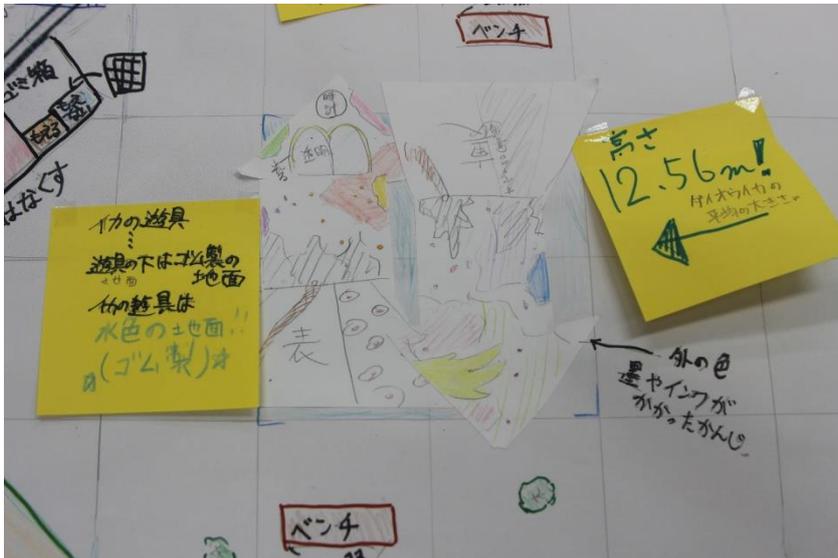
[提案とその理由]

- ・スロープの出入口
→ 障がいのある人でも出入できる。車いすも入れる。
- ・鹿の飼育コーナー
→ 今までにないスタイル。奈良の鹿に子どもから興味をもってもらいたい。
- ・水道
→ 熱中症予防・ケガした時の初期対応が可能・鹿への給水
- ・手洗い
→ これまでは駅まで行かなければトイレはなかった。今回できたら、利便性がよくなる！
- ・多目的広場
→ 普段はスポーツ、イベントもできる。人口芝により、手入れ回数も減る。
- ・シンボル
→ 新しいスタイル。ロープ、丸石で登れる。
- ・ターザンロープ
→ 市内、特に街にはほとんどないので、子ども間で話題になる！
- ・3本すべり台
→ 上の部分から3本のすべり台にすべれる。曲がったコース・最後が泥・真っすぐ

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

熱意。

(4) 「地元の人が来やすい公園」 意見書



[テーマ] 地元の人が来やすい公園

[提案とその理由]

- ・砂場
→ 公園によくあるし、小さい子も遊べる。
- ・駐輪場
→ 近くでも自転車で来れないと行きたくない。あと、少し遠いところでも来れる。
- ・トイレ+ごみ箱
→ 男・女・多目的と分けて、大人や小さい子も使用できる。
赤ちゃんがおむつ変えられる台もあったらいいな。
- ・ベンチ
→ 屋根つきで木から虫が落ちてくる心配がない。机とベンチを置いて軽食を食べれたり、休憩できる。熱中症で倒れたときも休ませれる。
- ・水場
→ 小さい子が足つけて遊べるように下を広くする。それと、ケガをしたときに広い方が洗しやすい。(ひざとか)
上向きの蛇口をつけて水を飲みやすいようにする。
- ・入口
→ 手すり+スロープで誰でも公園に入れる。
- ・ブランコ大・小
小：1～3歳専用 マスコットキャラ使ってみたい
大：3歳以上～中学生くらいまでの普通のブランコ
→ 2つに分けたのは大ブランコの前に小さい子が来たりしたら危ない。
- ・ボール遊び場
→ 最近、ボール遊び禁止の公園が多い。遊びたいのに遊べないので公園に行く理由が減る。
ボールが飛んでくると危ないから、高さ10mくらいのネットがほしい。地面は砂。
- ・土管
→ 某アニメに似せたかった。昔ながら(?)
- ・ルール・掲示板
→ 2つに分ける。入口2つに1個ずつ

ルール	掲示
- ・イカの遊具
→ まず目立つような遊具でわかりやすいタコにしようと思ったが、既にあったので、イカでもいいんじゃないか！細かいところは別紙。
- ・地面
→ イカの遊具の下は青で海っぽくゴム製。他は芝生。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

私たちができることは、公園を作る時、重い荷物などを運びます！！
なので、ぜひイカ公園をつくってください！！





平成30年度奈良市子ども会議集合写真

第1回奈良市子ども会議開催時撮影(平成30年7月24日)

平成30年度奈良市子ども会議報告書

平成30年11月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話:0742-34-4792 FAX:0742-34-4798

E-mail:kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証に関する報告書（案）
（第17条 子どもの居場所・遊び場づくり）

目 次

1	はじめに	1
2	奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会について	2
3	奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条について	3
	【 関連資料 】	8

1 はじめに

奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会（以下、「部会」といいます。）は、「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」（以下、「条例」といいます。）第19条第3項に基づき、子ども・子育て会議（全体会議）に対して本報告を行います。

同条は、「条例の運用状況」と「条例の規定に基づく事業等の実施状況」について、これを定期的に検証することを市に課しています。本報告は、その市の検証に資するため、私たち7名の委員が、鋭意検討を重ねてきた結論であります。

今次は、部会が昨年10月から本年11月まで都合4回にわたり、**条例第17条「子どもの居場所・遊び場づくり」**について審議しました。各回いずれも委員相互の熱心な質疑や討議により審議を重ね、また事務局とも連携・協力して検証作業を深めて参りました。

会長及び全体会議においては、条例が目的とする「子どもにやさしいまち」のより一層の実現に向け、条例第19条に基づき、本報告の積極的な活用を図られますよう、部会委員一同心より期待するものであります。ご高配のほど、よろしくお願い申し上げます。

2 奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会について

奈良市では平成27年4月1日に施行された「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」(以下「条例」という。)第19条第3項の規定に基づき、奈良市子ども・子育て会議においてこの条例の運用状況について検証を行う必要があります。

そして、この検証を集中的かつ効率的に行っていくために奈良市子ども・子育て会議の部会として子ども条例部会が設置されました。

[子ども条例部会の所掌事項]

(奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会設置要領から抜粋)

- (1) 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例(平成26年奈良市条例第51号。以下「子ども条例」という。)の規定に基づく事業等の実施状況の検証に関する事項
- (2) 子ども条例第12条に規定する子ども会議の運営に関する事項
- (3) 前2号のほか、子ども条例に基づく施策の推進に関し必要な事項

子ども条例部会においては、平成27年度から開催されている条例第12条に基づく「奈良市子ども会議」の運営やその検証についての審議を行うとともに、奈良市の子ども・子育て支援事業計画「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」に掲載されている116ある事業(※)の進捗管理において、各事業担当部署に条例第11条に基づく事業の自己評価を求め、その結果に対する審議を行いました。

また、このプランに掲載された事業について、条例の視点を踏まえ不足している部分等がないか審議するため、条例第14条「困難を有する子どもとその家庭に対する支援」の検証に引き続き、条例第17条「子どもの居場所・遊び場づくり」の検証を行いました。

(※ 平成29年度にプランの内容に関する見直しを実施し、現在は114事業)

3 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第17条について

奈良市の取組として奈良市子ども・子育て支援事業計画「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」に含まれる関連事業（15事業）やその他関連事業等についてまとめた資料が示されました。それらの資料をもとに、子ども条例部会では、この条例第17条の内容について、「市、保護者、地域住民、子どもが育ち・学ぶ施設の関係者及び事業者」のそれぞれの立場から主体的にできること、取り組んでいること等について、各委員が意見を出し合い、検証を行いました。

（子どもの居場所・遊び場づくり）

第17条 市、保護者、地域住民及び子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、子どもが安心して過ごすこと及び自然との触れ合いや遊び等様々な体験や子ども同士の交流をすることにより、豊かな自己を育むことができる居場所・遊び場づくりに努めるものとする。

1. 子どもの居場所・あそび場とは

検証を始めるにあたって、まず、「子どもの居場所・遊び場」とはどういったものかについて考えました。

条例17条の主旨は、子どもは自らの権利として、豊かな自己を育むために必要な居場所を得ることができ、遊ぶ機会と場所が保障されると明記しています。また、その子どもの権利への応答として、市、保護者、地域住民及び子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、子どもの居場所と遊び場づくりを推進する指針や計画を作成する役割（積極的な努力義務）を担うと定めています。

条例第2条1項の基本理念である「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」第31条において「子どもの休息・余暇・遊び・文化的・芸術的生活への参加の権利」を定めていますが、条例17条はこの権利の実現を目的とするものです。

① 子どもの居場所とは、安心して、ありのままの自分でいられるところ。

自己肯定感をえられるための時間と空間と関係（人や事物や自然との関係性）です。

② 遊びは、一人ひとりが気の向くままにしたいことができる時間と自由度という広い意味を

持っています。遊びは、子どもに特有な探索と思考の両面の統合作用であり、大人に支配されることなく、特別の決め事もない、子ども自身の状態を指します。楽しさの追求として、仲間といっしょに活動することを含みます。子どもの遊び場とは、以上のような遊びの機会を保障する場所です。

2. なぜ居場所・遊び場が必要か

次にその、「子どもの居場所・遊び場」がなぜ今、必要なのかについて考えました。

遊びは、第1に子どもの生活をより豊かにします。一人ひとりの子どもの可能性が花開くために必要な条件です。第2に、子ども時代の質を保証し、子どもの発達条件を権利として保障する上で、より高い快適さを推進するとともに、学ぶ権利など他の権利の実現のために欠かせないものです。第3に、子どもの健康と幸福に不可欠です。それは子どもの創造性・想像力・自信・自己有用感・身体並びに社会的な認識・心の強さ・身体の器用さを育みます。第4に、子どもたちの交渉力・感情の抑制・争いごとの決着・意思決定といった能力を促進します。こうした活動に没頭することを経験して、自らを取り巻く世界を知り、自分の立場を理解します。第5に、家族やコミュニティそして社会の文化を引き継ぎ、模倣（ごっこ遊びなど）し、創造し、発信します。また、子ども時代の文化を通じて、異なった文化環境に接近したり、新しい文化を生み出したりする先頭集団でもあります。第6に、食物や住居、健康管理、教育などと同じように重要です。十分な休息が、参加に必要な活力や動機、体力、精神力を養います。のんびり休むことは心の赴くまま、時間・空間の拘束を受けずに過ごす不可欠な余裕です。（国連子ども権利委員会・一般的見解 第17号より）

このように居場所や遊び場が重要であるにもかかわらず、

- ① 環境の変化によって、家庭や学校以外での子どもの居場所・遊び場が少なくなっている。
- ② 放課後を子どもだけで過ごす家庭の増加や、事故や事件の不安から、子どもが安心して過ごすことのできる場所が必要になっている。

3. 今、何が足りないか（課題）

「子どもの居場所・遊び場」の必要性を踏まえたうえで、今の奈良市で行われている事業に関する資料をもとに奈良市に今、なにが足りないかを検証しました。

- ① 居場所や遊び場を考えるにあたって、利用する子ども自身や地域の方の参画を通して、地域全体の意見を取り入れながら、進める体制が重要である。
- ② 木登り・水遊び・どろんこ遊び・火遊び（たき火）など自己責任で自由に遊ぶプレーパーク（冒険遊び場）が必要である。
- ③ 公園は制限が多く、天候によっては使えないこともあるため、集まったり遊んだりできる室内の居場所・遊び場が必要である。
- ④ 中高校生向けの児童館（バンド練習・ミニバスケットボール・自習室など）の設置が望まれる。
- ⑤ 障がいのある子どもや外国にルーツをもつ子ども、LGBTQ（セクシャルマイノリティ）の子どもたちの居場所の確保が重要である。
- ⑥ 子どもの居場所を福祉の視点からとらえる意味でも子ども食堂や学習支援等の充実が必要である。就労支援・ひきこもり・10代の親の支援を含む
- ⑦ 取組の情報が適切に利用者等に届くように、情報の整理や情報の届け方について工夫が必要である。
- ⑧ 行政の施設を利用する際に規制が多く、居場所や遊び場づくりを進める妨げになる場合もあると思うので検討が必要である。

4. どのように取り組むか（方向性）

課題を検証することに加えて、その対策をどのように取り組むのか審議しました。

- ① 新しいものを一からつくるという考えだけでなく、今あるものを活用することが重要であると考え。例として、学校にある図書館の活用及び図書館司書の配置の充実を図り、子どもの居場所にできないかと考える。学校を活用することは、利用者である子どもにとっても安全で安心な居場所になると考える。
- ② 居場所や遊び場を考えるにあたって、子どもたちへの禁止事項を増やすのではなく、

自己責任の考え方を取り入れて、自由に活用できる方向性で進める方がよいのではないかと考える。

③ 奈良市が地域の自治会や社会福祉協議会等と連携して、地域も子どもの支援に関わって応援できる制度を作り、放課後に子どもが自由に遊べる工夫ができればよいと考える。

④ 事業者として行える取組は、家庭での親子で過ごす時間を少しでも多く持つってもらうため、働きやすい勤務時間を提供するといった労働条件面の整備や、子どもの突発的な病気などに臨機応変に対応できる体制づくりに取り組むことである。こうした取組により、家庭での滞在時間を増やすだけでなく、少しでも仕事によるストレスを減らすことで、親子とも充実した家庭生活を送ることができると考える。

⑤ 平成30年度の「子ども会議」では「子どもの遊び場づくり」について子ども参加者が議論し、市長へ提案したが、その提案の実現を目指す。

⑥ 居場所・遊び場づくりの事業には共通する内容が多いと感じる。各事業同士の連携をさらに強化し、奈良市全体として総合的に取り組むことが重要であると考えます。

⑦ 各施設や団体で協力をし合うための SNS グループをつくるなど、施設の枠を超えた交流があればよいと考える。

5. 子どもの居場所・遊び場づくりにおける留意点

最後に、子どもの居場所や遊び場づくりをする上での留意点についても審議を行いました。

① 居場所・遊び場づくりにおいて、計画段階から子どもの声を取り入れることが重要だと考える。

② 子どもの居場所・遊び場づくりの取組について、ただ、行うだけでなく、広報を併せて行い、奈良市の魅力として発信していくことも重要である。

③ 防犯や安全の観点から、子どもにとって身近で行きやすいところであることも重要である。

6. 提案

1から5までの意見を踏まえ、次のとおり提案する。

- ① 「子どもの居場所づくり」や「子どもの遊び場づくり」を推進に関する指針及び実施計画を策定することを求める。

ここでいう指針及び実施計画とは、市が直接子どもに居場所や遊び場を提供することだけではありません。広く市内の子ども施設や保護者・市民などにも呼びかけて、居場所・遊び場づくりの意義を具体的・積極的に奨励することを意味する。

奈良市は全国的に学習活動に熱心な風土であり、保護者も学習する権利のみに関心が傾きがちです。ともすればないがしろにされがちな「居場所・遊び場づくり」の大切さを市は広報し、子育て世代がより暮らしたくなる自治体を目指す。

- ② 市は、公民館や図書館などの公共施設や、「バンビーホーム」などの放課後活動、さらには条例により設置された「子ども会議」、その他民間を含む多様な施設や活動、行事等々について、それらを「子どもの居場所・遊び場づくりの推進に関する指針および実施計画等」に位置づけ、子どもの居場所・遊び場づくりを積極的に奨励する役割を担うことを提案する。

【 関連資料 】

資料 1 : 奈良市子どもにやさしいまちづくりプランにおける

奈良市子どもにやさしいまちづくり条例第 17 条に該当する事業一覧

※ 「No.」 は奈良市子どもにやさしいまちづくりプランにおいて各事業につけられている番号。(1～114)

事業名 (No. 25)	放課後児童健全育成事業
担当課	地域教育課
内容	保護者が就労などで昼間家庭にいない世帯の小学生を預かり、放課後児童健全育成事業施設内において、集団生活を体験させながら、健全育成を図ります。

事業名 (No. 26)	放課後子ども教室推進事業
担当課	地域教育課
内容	放課後等に小学校等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得てスポーツ等交流活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行います。

事業名 (No. 27)	教育センター学習事業
担当課	教育支援課
内容	教育センターのキッズ学びのフロアの設備を活用した体験教室等を開催することで、子どもたちの豊かな学びを保障し、創造性や探究心を育てます。

事業名 (No. 28)	青少年野外体験施設の運営管理
担当課	生涯学習課
内容	自然環境の中での野外活動やレクリエーション活動を通じて、青少年の心身の健全な育成を図ります。

事業名 (No. 29)	児童館事業の充実
担当課	子ども育成課
内容	児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点としての事業を行い、より開かれた児童館をめざします。

事業名 (No. 30)	スポーツ体験フェスティバルの開催
担当課	スポーツ振興課
内容	「体育の日」にちなんで、スポーツの裾野を拡大し、「見て、触れて、体験」することにより、子どもたちがスポーツに親しみ、取り組む足がかりとなる場を提供します。

事業名 (No. 31)	スポーツ少年団の育成
担当課	スポーツ振興課
内容	スポーツ少年団事業として魅力ある本部事業を展開し、団への加入を促進することにより、子どもたちのスポーツの継続的な活動を促進します。

事業名 (No. 32)	子どもを対象とした文化事業の実施
担当課	文化振興課 奈良町にぎわい課
内容	子どもたちが優れた芸術や伝統的な芸能等、文化に親しむ機会を設けます。

事業名 (No. 33)	アウトリーチ活動の実施
担当課	文化振興課
内容	学校教育との連携を図り、子どもたちが芸術文化に親しむ機会を充実させます。

事業名 (No. 58)	地域子育て支援拠点事業
担当課	子ども育成課
内容	乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。

事業名 (No. 59)	子育てスポット事業
担当課	子ども育成課
内容	公共施設の空きスペースで、月1~2回、乳幼児と保護者が気軽に集って、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。

事業名 (No. 60)	子育てスポットすくすく広場事業
担当課	子ども育成課
内容	福祉センターで、主として乳幼児(0~3歳)と保護者が気軽に集える場を提供し、高齢者から昔ながらの遊びや昔話を教えてもらうなど、異世代間における交流を行います。

事業名 (No. 61)	市立こども園の地域活動の推進
担当課	こども園推進課
内容	地域に開かれたこども園として、地域の様々な人との交流を推進するとともに、未就園児の親子登園や子育て相談を実施する等、地域の子育て支援の拠点として子育て支援の充実を図ります。

事業名 (No. 62)	地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進
担当課	こども園推進課
内容	地域の仲間とふれあう機会が少なくなっている幼児や、子育てに孤立感・不安感を抱えている保護者のために、園庭・園舎を開放し、在園児との交流や未就園児の親子登園を実施します。

事業名 (No. 63)	公民館での各種教室・講座
担当課	生涯学習課 (奈良市生涯学習財団)
内容	公民館の特性を生かし、各年度において、各種子育て支援事業を実施します。 ①親子が集える「場」の提供・情報提供事業 ②子育て支援教室・講座(保護者対象)

	③体験教室・講座（親子対象） ④体験教室・講座（児童対象） ⑤地域の子育て力向上をめざした教室・講座（市民対象）
--	--